



優勝を目指して声を振り絞る子どもたち

えさし 夏山に響け！僕の私の一声
シーズン到来を告げる種山高原山開き

江刺区と住田町にまたがる種山高原の山開き（種山高原観光協会主催）が6月1日、種山高原キャンプ場で行われました。山の安全を祈願する式典の後、郷土芸能や42歳年祝連「興承会」などが演舞を披露。毎年恒例の「大声コンテスト」に参加した子どもたちは「ヤッホー」の掛け声や将来の夢などを高原に向けて叫びました。この日は夏本番を思わせる好天で、訪れた観光客は名物のジンギスカンに舌鼓を打ちながら、夏山の自然と催しを楽しみました。

こもがわ かけがえのない絆を求めて
農村生活体験学習生の受け入れ

仙台市立幸町中学校（小川彰校長、生徒511人）の農村生活体験学習が、5月20日から22日までの2泊3日で行われました。今回は、おうしゅうグリーン・ツーリズム推進協議会（森岡誠会長）会員のうち前沢区、衣川区、平泉町の36戸が、同校2年生147人を受け入れ、佐々木金男さん＝衣川区百ヶ袋＝宅に民泊した生徒5人は、あいくの雨に見舞われ苗箱の洗浄を体験。班長の加藤巧馬君（13）は「工夫しながら大量の苗箱を効率よく洗いました」と話していました。



苗箱洗いに取り組む表情は真剣そのもの



裸足で田んぼに入り手植えをする子どもたち

みずさわ 自然の中から環境を考える
みずさわエコキッズ第1回活動

市のみずさわエコキッズ事業の開講式および第1回活動が5月18日、水沢区黒石町小黒石地区の「こぐりん」（小黒石自然体験交流館）を会場に開催されました。子どもたちの環境を大切にすることを目的に、（一財）自治総合センターの宝くじ助成を受け実施している同事業。「古代の流れ源流網代滝を守る会」（及川進二会長）の協力のもと、水沢区内の小中学生16人が参加し、昔ながらの田植え作業や山林に入っのたけのこ狩りを体験しました。

えさし 奥州グルメを食いつくせ！
元祖！大食い王決定戦口ケ

「元祖！大食い王決定戦」（IBC岩手放送7月19日午後1時放送）の予選収録が5月31日、歴史公園えさし藤原の郷を会場に行われました。大食い自慢の強者を全国から集め日本一の胃袋を競う同番組。ギャル曽根さんなどの有名タレントも輩出した大人気番組です。当日は気温が30度を超える猛暑の中、大食い女王を目指す15人の参加者たちが、本市特産のグルメを次々と口に運び、見た目からは想像もできない食べっぷりに大勢の観客を驚かせました。



開始の前に気合を入れる参加者たち

まえさわ 肉質最高峰の前沢牛に舌鼓
第30回前沢牛まつり



炭火と貸し出し用のコンロで前沢牛を焼く若者たち

第30回前沢牛まつり（同実行委員会主催）が6月1日、前沢いきいきスポーツランドを会場に開催されました。ことしで30回の節目を迎えた同祭り。この日は、絶好の晴天に恵まれ、来場者は過去最多の5万人（主催者発表）を数えました。

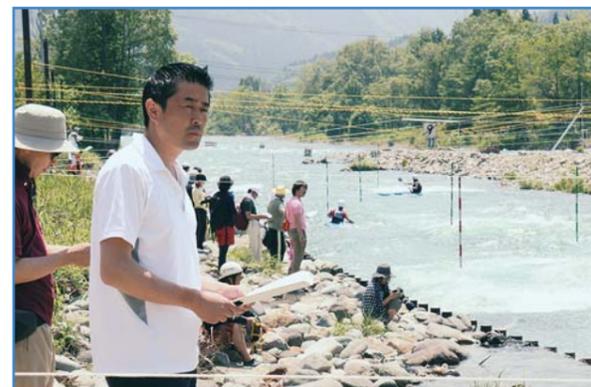
前沢牛の肩ロースやステーキ用サーロインなどを購入した家族連れなどは、青空の下で焼肉を頬張り、その旨さに舌鼓。特設ステージでは、恒例の「牛の鳴きまねコンテスト」のほか「お楽しみ大抽選会」などが行われ、来場者を楽しませました。また、ことしの歌謡ショーは、千昌夫さん、新沼謙治さん、大沢桃子さんの本県出身の3人をゲストに迎え、来場者に素晴らしい歌声を披露してくれました。

えさし サッカーで地域への恩返し
奥州江刺サッカーフェスティバル

奥州江刺サッカーフェスティバルが5月5日、江刺カルチャーパークで開催されました。この催しは、「子供たちの夢を応援することで、地域の皆さんへ恩返しをしたい」と岩谷堂高校サッカー部OBが組織した実行委員会（菊地隆弥代表）が開催。OBと現役部員による記念試合や、元ベガルタ仙台監督でサッカー解説者の清水秀彦さんをゲストコーチに迎えてのサッカー教室が行われ、会場はサッカーを楽しむ多くの人たちの笑顔で溢れていました。



清水秀彦さん（左）のアドバイスに聞き入る参加者



真剣に講習に取り組む参加者たち

いさわ 国体を支えるために団結！
カヌー審判員資格講習会

「希望郷いわて国体」カヌー競技審判員資格講習会が5月31日、6月1日の2日間、胆沢区の胆沢愛宕地区センターと秋田県生保内カヌー競技場を会場に開催されました。初日はルールや競技映像を交えての講義、2日目は実技講習が行われ、参加者37人全員が日本カヌー連盟公認審判員資格を取得。胆沢区から参加した加藤瑞恵さん（21）は「カヌーは身近なスポーツだと感じました。大会に足を運んでもらい、競技の素晴らしさを多くの人に感じてほしい」と話していました。